

早稲田大学大学院文学研究科 ロシア語ロシア文化コース

本コースは、ロシア語およびロシア文化を研究対象とするコースです。ロシア語を基盤としてロシア文化を研究し、またロシア文化を背景としてロシア語を研究することがコースの基本姿勢となります。また研究対象となるロシア文化の中には、中世から現代に至る文学はもちろん、美術、映画、音楽、舞台芸術、思想、民俗なども含まれています。

ロシアの文学・文化について総合的に研究できる大学院は全国的に見ても数が少なく貴重であり、本コースは日本のロシア文化研究の中心のひとつとして大きな役割をはたしています。

文化の研究に際しては、どのような方法で研究するのかということも重要となるでしょう。ロシアではこれまで、フォルマリズム、バフチン、モスクワ＝タルトゥ学派など重要な視点や方法論が数多く生み出されてきました。こうした多様な理論的成果についても合わせて学んでいくことになります。

修士課程では、修士論文を作成する過程のなかで、国際社会で広く活躍できる専門知識と語学力を育成することを目標とします。また博士後期課程においても、博士論文を作成する過程のなかで、国際学会等でも十分に活動できるさらに高度な研究能力と語学力を養っていくことが目標です。

修了後の進路：

修士修了者の主な進路は、大学院博士後期課程への進学、学校教員、一般企業、公務員、団体職員、マスコミ等さまざまです。

※ 早稲田大学文学部ロシア語ロシア文学コース／大学院文学研究科ロシア語ロシア文化コースのホームページもご参照ください。

(<https://www.waseda.jp/bun-russia/>)

※ また、早稲田大学大学院文学研究科ホームページの「先輩紹介」のコーナーで、ロシア語ロシア文化コースの修了者や在学生の紹介を見ることができます。

(<https://www.waseda.jp/flas/glas/about/students/>)

専任教員紹介：

貝澤 哉 教授

【専門分野 ロシア文学、ロシア文化史（19世紀末～20世紀初頭）】

主要業績

●著書（共編）貝澤哉, 杉浦秀一, 下里俊行編『〈超越性〉と〈生〉との接続 近現代ロシア思想史の批判的再構築に向けて』（水声社）／（共編）貝澤哉, 野中進, 中村唯史編『再考ロシア・フォルマリズム 言語・メディア・知覚』（せりか書房）／『引き裂かれた祝祭 バフチン・ナボコフ・ロシア文化』（論創社）

●訳書 ナボコフ『カメラ・オブスクーラ』『絶望』『偉業』（光文社古典新訳文庫）／イーゴリ・ゴロムシトク『全体主義芸術』（水声社）

坂庭淳史 教授

【専門分野 19世紀ロシア文学・思想、比較文学】

主要業績

●著書『フォードル・チュツチェフ研究』（マニュアルハウス）／『プーシキンを読む』（ナウカ出版）／著書『現代ロシアのジェスチャー』（東洋書店）

●訳書 アレクサンドル・プーシキン『大尉の娘』（光文社）／アルセーニー・タルコフスキー『雪が降るまえに』（鳥影社）／（共訳）ソルジェニツィン『廃墟のなかのロシア』（草思社）

三浦清美 教授

【専門分野 中世ロシア文学】

主要業績

●著書『ロシアの源流』（講談社選書メチエ）／（共著）『白樺文書 発見50年とその研究』（Издательство “Индрик”）

●訳書『キエフ洞窟修道院聖者列伝』（松籟社）

●論文「1204年の十字軍によるツァリグラード征服の物語」（Slavistika XXXII）／「プスコフの歴史と文学 - 中世ロシア文学図書館 VIII」（東京大学大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学研究室年報(2015) XXXI）

八木君人 准教授

【専門分野 ロシア・フォルマリズム、ロシア・アヴァンギャルド、ロシア散文史】

主要業績

●博士論文『《現在時》の詩学：ロシア・フォルマリズムと「近代」』（早稲田大学）

●論文「声への想像力ーボリス・エイヘンバウムの詩論」（『再考ロシア・フォルマリズ

ム』せりか書房)／「シクロフスキイの「異化」における視覚」(『ロシア語ロシア文学研究』第43号)／「K・ヴァギノフ『山羊の歌』における「コレクション」の問題」(『ロシア語ロシア文学研究』第36号)／“Расчленять и артикулировать: кинотехнология как модель мышления ОПОЯЗа // Вестник Крымских литературных чтений. Выпуск 9. Часть II.

斎藤慶子 講師 (任期付)

【専門分野 日露バレエ交流史、比較文化、文化外交】

主要業績

●著書『「バレエ大国」日本の夜明け：チャイコフスキー記念東京バレエ学校 1960-1964』(文藝春秋社)

●訳書(共訳)『ボリショイ秘史：帝政期から現代までのロシア・バレエ』(白水社)

●論文「フルシチョフ期の日ソ文化交流：バレエを中心に」(『ロシア・東欧研究』第49号)／「「バレエ『まりも』(1962年)と社会主義リアリズム：アイヌにまつわる創作伝説のソヴィエト・バレエ化」(『民族藝術』第34号)／「バレエと政治：チャイコフスキー記念東京バレエ学校(1960-1964)と冷戦期のソ連の文化外交」(『境界研究』第8号)

修士論文題目例：

2023 年度提出

19 世紀初頭ロシアのエレジーにおける瞑想の様式——ジュコフスキー「村の墓場」を中心として

ゴンチャローフ『断崖』研究——苦悩するヴェーラ

マリナ・ツヴェターエワ「別れ」研究

2022 年度提出

『カラマーゾフの兄弟』における「キリストの発見」の意義——旧約聖書ヨブ記との構造的相関に着目して

中世ロシアの聖地巡礼記録に反映された巡礼者の価値観と揺らぎ——『ルーシの地の修道院長ダニイルの聖者伝および巡礼記』を題材として

2021 年度提出

イーゴリ・ホーリンの詩作における抒情的主体の変容について

ボリス・ポプラフスキイ『雪の時』読解——抒情的主体と冬の時空間

スタニスラフスキーの演技論における«переживание»とその周辺概念

大学院進学相談について：

ロシア語ロシア文化コースでは大学院進学相談を常時受け付けています。

大学院ロシア語ロシア文化コースへの進学について相談・質問などございましたら、下記のメールアドレスへお気軽にお問い合わせ下さい。

御相談・御質問宛先： robun@list.waseda.jp